

緊急時の流れ

現場用

事態発生・救急車の要請の判断

※「ためらわずに救急車を呼んで欲しい症状」を参照

必要と判断した時

119番へ電話する

- ○住所・利用者名・会社名を伝える。
- 〇先方の聴き取りに答える。

応急手当

- ○安全な場所や体勢の確保
- 〇三角巾での出血防止
 - ※ご利用者や家族にとって、ヘルパーは"専門家"です。落ち着いて出来る限りの対応をお願いします。

事務所へ電話連絡

- ○まず "救急車を呼んだ" と伝える
- ○責任者または管理者を呼び、報告
 - ※利用者情報の提供、家族への連絡、 替りの人員の手配などを事務所側で 行います。
 - ※社用携帯は出られるようにする。 (事務所からの指示があります)

到着した救急隊に状況時

- ○症状・持病・服薬の状況
- ○家族の連絡先、いつ来るか など

救急車を送り出し

○救急車には乗りません。

(事務所から指示ある場合は除く)

事務所へ電話報告

迷った時・不要と判断した時

事務所へ電話連絡

- ○責任者または管理者と話す。
- 〇状況報告
- ○不要と判断した場合、すぐに 連絡する。(派遣後ではなく)

(事務所で行う現場のサポート)

追加の応急処置の精査

緊急連絡先へ雷話

応援(代替人員)の手配

利田者情報の押握・取りまとめ

←現場へ報告